

# タクシー業界の新たな収入源へ

菊陽町商工会 井上 知揮

事業者名：(株)おしろタクシー

業種：タクシー事業



保有タクシー全 16 台が電気自動車

## 担当者コメント

くまもと中小企業デジタル相談窓口の専門家派遣を活用し、IT の専門的なアドバイスをいただきました。

## 支援テーマ

	創業
	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
<input type="radio"/>	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
<input type="radio"/>	事業再生・再チャレンジ
	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
	持続化補助金
<input type="radio"/>	その他 (IT 化)

## 支援前の課題

### 【企業概要】

株式会社おしろタクシーは、平成23年に有限会社おしろタクシーの全事業を譲受し、平成26年に菊陽町へ移転し営業を開始したタクシー事業者である。現在は、同町を拠点に、その周辺市町村(熊本市北区、合志市)にて24時間営業を行っている。タクシーは電気自動車16台を保有。菊陽町とEVタクシーを電力源とする災害連携協定を全国初締結するなど、環境問題対応や地域貢献にも積極的な企業である。

(創業) 平成23年11月

(代表者の年齢) 44歳

(現状分析)

- ・強み→平成30年に保有タクシー全16台を電気自動車へと更新し、SDGsなどの持続可能な社会づくりにいち早く対応
- ・弱み→乗務員の高齢化により、数年後には急速な乗務員の減少の恐れ
- ・機会→本町への台湾半導体大手TSMC進出の影響により、今後、住民の増加、交流人口の増加
- ・売れ筋商品・顧客ニーズの把握：地域密着型の効果的な広告事業の実施
- ・競合する店舗等：各種媒体による広告

### 【支援課題・支援計画】

(支援課題) 事業計画を進めるためには、再構築補助金の活用が必要

(短期計画) 再構築補助金による広告事業への進出

(中長期計画) 新事業の拡大

## 支援内容

### フェーズ1 デジタル相談窓口を活用し、IT に詳しい専門家によるブラッシュアップ

コロナ禍で飲食店の客が激減、リモート対応で出張も不要となることによる人流の停滞した影響は、タクシー業界にも大きな痛手となった。さらに追い打ちをかけるように燃料の高騰によって、さらに厳しい経営環境となっていたこともあり、アフターコロナに向けての新たな収入確保が喫緊の課題であった。

そこで当事業者が考えたのは、タクシーの車内にタブレットサイズのデジタルサイネージ広告装置を設置し、広告事業の運営を開始することであった。

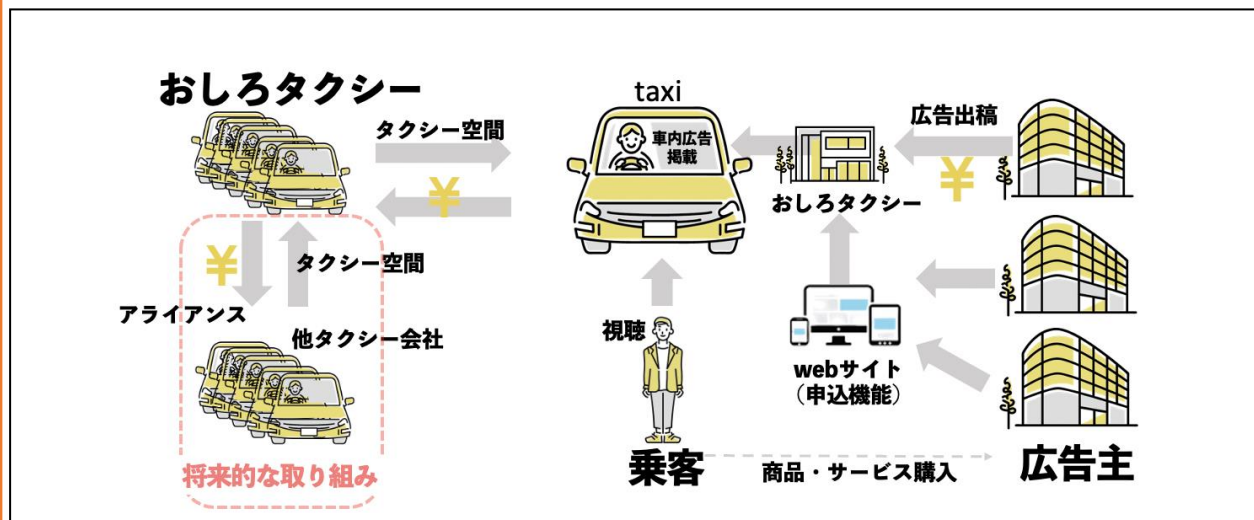
事業再構築補助金を活用することとしたが、IT に詳しい専門家派遣で対応することとしたものの、締め切りまでに1か月を切っており、非常にタイトな状況であった。

専門家派遣によるブラッシュアップを短期間に計3回行い、計画内容の充実を充実は図っていった。特に、他の広告手段より、タクシー内のサイネージ広告が優れている点や採算性のある事業となる仕組みを検討し、計画に盛り込んだ。

### (進捗・成果)

再構築補助金は採択を受けることができ、その後は、見積書を取得するために、システムの仕様を固める作業に半年程度の時間がかかったものの、交付決定後の導入はスムーズに進んでおり、令和5年10月5日現在で一部のタクシーに設置され、順調にテスト運用が行われている。

今後は、アライアンス契約により、グループ会社や熊本交通圏の各社にも同システムを広めて、更なる収入源とする新たなビジネスの展開を計画している。



## 事業者様の声

今回、事業再構築補助金を活用して当事業を立ち上げるにあたり、商工会に相談させていただいたところ、専門家派遣等の多くのご支援を賜り、採択を受けることができました。採択後も、継続的に様々なアドバイスをいただき、大変スムーズに事業の準備を進めることができています。

### 取組の中で、おすすめしたい自社のアピールポイント

タクシー事業の新たな収入源として、タクシー内でのサイネージ広告に取り組んだわけであるが、これを乗務員の環境改善に生かすことにより、人手不足の解消につなげていきたいと考えています。また、多くのタクシーに広がっていくことで、広告主にも喜ばれ、地域経済の発展の一助となればと考えています。県内の企業の皆様には、広告主としても、当サイネージ広告をご活用いただきたいと思っております。

